

## 2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

### (1) 事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 処理水量（日最大） 294,500 m <sup>3</sup> /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東 近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 処理水量（日最大） 52,500 m <sup>3</sup> /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 処理水量（日最大） 120,750 m <sup>3</sup> /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 処理水量（日最大） 16,400 m <sup>3</sup> /日	平成9年 4月	高島市

※処理水量（日最大）は令和2年4月1日現在

### ○事業の実施状況

令和元年度下半期の処理水量は75,170千m<sup>3</sup>で、前年度同期に比べ3,016千m<sup>3</sup>、4.2%の増加となりました。

なお、令和元年度の各処理区の処理水量は、次のとおりです。

(単位 千m<sup>3</sup>)

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
上半期分	48,874	7,892	18,023	2,559	77,348
下半期分	47,521	7,513	17,699	2,437	75,170
合計	96,395	15,405	35,722	4,996	152,518

### ○建設事業の状況

令和元年度下半期は、浄化センターにおける水処理施設の設備改築更新工事および耐震補強、流域幹線管渠工事等を上半期に引き続き実施しました。

### (2) 経理の状況

#### ○予算の補正の状況

令和2年2月定例会議において、維持管理負担金の減少等により事業収益を1,151,816千円、動力費の減少等により事業費用を1,266,249千円それぞれ減額補正しました。また、企業債の減少等により資本的収入を294,313千円、工事費の減少等により資本的支出を365,754千円それぞれ減額補正しました。

## ○令和元年度予算の執行状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

### ●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
琵琶湖流域下水道事業収益	22,510,500	—	△1,151,816	21,358,684	21,391,527	100.2
営業収益	8,697,284	—	△ 296,079	8,401,205	8,461,041	100.7
営業外収益	13,813,216	—	△ 901,194	12,912,022	12,876,580	99.7
特別利益	—	—	45,457	45,457	53,906	118.6
琵琶湖流域下水道事業費用	22,364,800	—	△1,266,249	21,098,551	20,777,836	98.5
営業費用	21,365,839	—	△1,209,176	20,156,663	19,840,540	98.4
営業外費用	961,742	—	△ 57,073	904,669	900,078	99.5
特別損失	37,219	—	—	37,219	37,218	100.0

### ●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	9,134,400	3,495,555	△ 294,313	12,335,642	9,102,665	73.8
企業債	3,515,400	945,300	△ 156,100	4,304,600	3,553,800	82.6
出資金	289,808	—	99,086	388,894	388,894	100.0
補助金	3,843,740	2,550,255	△ 150,865	6,243,130	3,761,759	60.3
負担金	1,485,452	—	△ 86,434	1,399,018	1,398,212	99.9
資本的支出	11,888,200	4,441,082	△ 365,754	15,963,528	11,268,407	70.6
建設改良費	7,061,590	4,441,082	△ 391,469	11,111,203	6,416,085	57.7
企業債償還金	4,817,894	—	—	4,817,894	4,817,891	100.0
他会計からの長期借入金償還金	8,716	—	25,715	34,431	34,431	100.0

(注) 1 補正予算額は、令和2年2月定例会議における補正予算額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、引継金等で補填しました。

## ○企業債の状況

令和2年3月31日現在の企業債の現在高は、49,465,476千円です。

## ○決算の状況

### ①損益収支

事業収益は20,697,013千円、事業費用は20,146,958千円となりました。この結果、純利益は550,055千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和元年度(A)	平成 30 年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,697,013	—	20,697,013	皆増
営 業 収 益	7,770,436	—	7,770,436	皆増
営 業 外 収 益	12,872,671	—	12,872,671	皆増
特 別 利 益	53,906	—	53,906	皆増
琵琶湖流域下水道事業費用	20,146,958	—	20,146,958	皆増
営 業 費 用	19,284,436	—	19,284,436	皆増
営 業 外 費 用	825,304	—	825,304	皆増
特 別 損 失	37,218	—	37,218	皆増
当 年 度 純 利 益	550,055	—	550,055	皆増

②財務状況

令和元年度末の総資産は 286,274,675 千円、負債は 268,225,066 千円となり、資本は 18,049,609 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和元年度	平成 30 年度	比較増減	科 目	令和元年度	平成 30 年度	比較増減
固定資産	277,350,661	—	277,350,661	固定負債	47,658,771	—	47,658,771
流動資産	8,924,014	—	8,924,014	流動負債	9,395,318	—	9,395,318
				繰延収益	211,170,977	—	211,170,977
				負債合計	268,225,066	—	268,225,066
				資本金	1,423,726	—	1,423,726
				剰余金	16,625,883	—	16,625,883
				資本合計	18,049,609	—	18,049,609
合 計	286,274,675	—	286,274,675	合 計	286,274,675	—	286,274,675

(3) 令和2年度の事業および予算の概要

琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現するため、本年度は 4 処理区あわせて 156,417 千㎡の汚水を処理する予定としています。

また、管渠の整備工事や、各浄化センター等における設備の改築更新工事、耐震補強工事等を行うこととしています。

○令和2年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
琵琶湖流域下水道事業収益		21,725,900
	営業収益	8,758,047
	営業外収益	12,958,774
	特別利益	9,079
琵琶湖流域下水道事業費用		21,575,900
	営業費用	20,708,604
	営業外費用	859,821
	特別損失	7,475

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		10,329,200
	企業債	3,013,100
	出資金	532,966
	補助金	5,081,046
	負担金	1,683,856
	固定資産売却代金	18,232
資本的支出		13,717,700
	建設改良費	8,763,092
	企業債償還金	4,108,160
	返還金	846,448

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。